

農林水産商工常任委員会資料

(平成27年1月21日)

項目	ページ
1 環日本海定期貨客船航路の運航状況等について	
	【経済産業総室（通商物流室）】……………1
2 「年末生活相談窓口」の結果について	
	【雇用人材総室（労働政策室・就業支援室）】……………2

商工労働部

環日本海定期貨客船航路の運航状況等について

平成27年1月21日
経済産業総室通商物流室

1 境港における利用状況（境港管理組合の暫定集計）

- ・2014年の境港～東海間の旅客数は、4月16日に発生したセウォル号事故の影響により韓国人旅客が減少したこと等から、対前年比28.9%減の延べ17,353人となった。
- ・境港～東海間の旅客数を対前年同月比で見ると、4～6月は52.6%減、7～9月は38.5%減、10～12月は5.0%減とセウォル号事故の影響から回復傾向にある。
- ・2014年の境港の取扱貨物量は、コンテナ貨物は対前年比12.1%増加したものの、ロシア向け建材等のバルク貨物が減少したことから、重量（メートルトン）ベースでは対前年比26.8%減の7,127ftとなった。
- ・懸案だった境港～東海間の貨物量は対前年比26.8%増加し、主に韓国向け産業機械、日本向け野菜等が増加した。また、秋頃からは韓国向け活魚車の利用も増加傾向にある。

■旅客実績

区分	運航回数	延べ乗客数	1便当たり 平均乗客数	乗客国別内訳			
				韓国	日本	ロシア	その他
2013年	49航次	24,410人	249人	22,641人 (92.8%)	619人 (2.5%)	725人 (3.0%)	425人 (1.7%)
2014年	49航次	17,353人	177人	15,683人 (90.4%)	500人 (2.9%)	862人 (4.9%)	308人 (1.8%)
増減	—	△7,057人	△72人	△6,958人	△119人	137人	△117人

■貨物実績

区分	運航回数	境港での貨物実績				1便当たり 平均貨物量 (トン数)
		コンテナ貨物		バルク貨物	合計トン数	
		(TEUベース)	(トンベース)			
2013年	49航次	559TEU	3,094ft	6,643ft	9,737ft	99.4ft
2014年	49航次	633TEU	3,731ft	3,396ft	7,127ft	72.7ft
増減	—	74TEU	637ft	△3,247ft	△2,610ft	△26.7ft

※1TEUは、20フィートコンテナ1個を表す単位

※トン数の単位としているft(メートル)とは、容積1.113m³(40立方フィート)、重量1,000kgをもって1トとし、重量または容積の何れか大なる方を採用する換算方式

<参考：航路全体の利用状況（DBSクルーズフェリー（株）の暫定集計）>

- ・2014年12月末現在、就航以来5年6ヵ月の間に航路全体で611往復を運航した。延べ旅客数は238,724人、1往復当たりの平均旅客数は390人となった。
- ・2014年の航路全体の旅客数は、昨年1月からの韓露間ノービザ化により年初は順調に推移したものの、昨年4月に発生したセウォル号沈没事故、さらにロシア経済の低迷等の影響により、対前年比12.3%減の延べ38,932人だった。
- ・2014年の航路全体の貨物量は、昨年6月末の東草(ウチヨ)～ザルピノ・ウラジオストク航路の休止により増加に転じたものの、従前の水準には戻らず、対前年比3.3%減の20,990トンだった。
※貨物量のトン数は貨物の重量を単純加算したもの。また、旅客の携帯車両、活魚車などの重量は含まない。

2 利用促進に向けた取組み

- ・韓国人旅客の境港への誘客対策として、12月25日（木）東海港出港便に特別価格を設定し、415名を集客した。また、2月8日（日）から14日（土）までの間、東海～境港を連続二往復する特別スケジュールで運航し、主に春休み中の韓国人旅客をターゲットとした誘客対策を行う。
- ・貨物誘致対策として、2018平昌冬季オリンピックに向けた韓国内の鉄道高速化整備工事により、韓国内の鉄道輸送が一部制限されていることから、従前鉄道を利用し釜山港まで輸送して輸出入を行っていた江原道内の企業をターゲットに、DBS社、江原道と連携した貨物誘致を行う。

3 運航船舶（イースタンドリーム号）の法定定期点検について

- ・2月23日（月）から3月13日（金）まで間、イースタンドリーム号の法定定期点検及び修繕工事を実施する。これに伴い、2月20日、27日、3月6日の境港入港便は休航となる。
- ・法定定期点検後の3月15日（日）東海港出港便からは、ウラジオストク港での停泊を2泊とする夏季スケジュールに移行する。

「年末生活相談窓口」の結果について

平成27年1月21日
 福祉保健課
 暮らしの安心局住まいまちづくり課
 雇用人材総室労働政策室
 // 就業支援室

会社を離職された方、県内就職を希望される帰省中の方、生活に困窮されている方、住まいにお困りの方などを対象に、行政機関等が業務を停止している年末に年末相談窓口を開設しました。その結果は、次のとおりです。

1 期 日 平成26年12月29日(月)、30日(火) 10:00~18:00

2 相談内容、開設場所

相談内容	開設場所
就職・Uターン (離職者、求職者、県内就職希望帰省者等)	ミドル・シニア仕事ぶらざ (鳥取、倉吉、米子)
生活 (生活困窮相談、生活福祉資金貸付、生活保護等)	県庁本庁舎県民室 (とっとりパーソナルサポートセンター、鳥取県社会福祉協議会、県福祉保健課・住まいまちづくり課が共同で開設)
住まい (県営住宅への入居等)	

※各窓口が連携してワンストップサービスを提供。

3 結果

・相談件数は延べ66件(相談者60人) ※前年度は延べ37件(相談者35人)

【相談内容別件数】

会場	職業	Uターン	生活福祉資金等	生活保護	住宅	その他	計
仕事ぶらざ鳥取	19件	1件	0件	0件	0件	1件	21件
仕事ぶらざ倉吉	14件	0件	0件	0件	0件	0件	14件
仕事ぶらざ米子	5件	0件	0件	0件	0件	0件	5件
県庁県民室	0件	0件	7件	3件	8件	8件	26件
計	38件	1件	7件	3件	8件	9件	66件
(参考)H25年末	12件	—	8件	4件	4件	9件	37件